

Japan OTIC が O-RAN End-to-End Badge 認証を発行

— O-RAN 仕様に準拠した複数の製造者による Open RAN ネットワークの普及を促進 —

Japan OTIC (ジャパンオーティック) (注 1) は、異なる製造者による 5G 基地局装置の組合せが、Open RAN の国際的な標準仕様推進団体 O-RAN ALLIANCE (注 2) が定める O-RAN エンドツーエンド (E2E) 仕様に準拠していることを証明する O-RAN E2E Badge 認証 (注 3) を発行しました。4G のコアネットワークに 5G の基地局を連携させる Non Stand Alone (NSA) 方式における E2E Badge 認証は、世界で初めてです (注 4)。

Japan OTIC による認証により、機器メーカーにとっては採用・参入機会の拡大、通信サービスにとっては機能高度化、開発・導入期間の短縮といった効果が期待され、日本はもとよりグローバルに、よりオープンでより確実・安全な 5G 通信社会の実現への貢献が期待されます。

O-RAN E2E Badge 認証の概要

認証タイプ/ 認証 ID	被試験 無線アクセス技術	被試験装置	製造者	モデル名
E2E バッジ/ JPOT240001	5G NR	O-RU	NEC Corporation	MB5420-m5770
	5G NR	O-DU	SW: Rakuten Symphony / HW:	BareBone S5I 2U
	5G NR	O-CU		BareBone D52BQ 2U
	4G LTE	O-eNB DU	Quanta Cloud Technology	BareBone D52BE 2U
	4G LTE	O-eNB CU		BareBone D52BE 2U

(注 1) Japan OTIC: 一般社団法人 YRP 研究開発推進協会と株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社及び楽天モバイル株式会社により、O-RAN ALLIANCE が定める国際的な標準仕様に基づく試験・認証を行う拠点として、2022 年 12 月に横須賀市に開設され、運営されています。<https://japan-otic.jp/>
なお、Japan OTIC の設立・運営にあたり、総務省が実施した研究開発や調査*の知見が活用されています。

*令和 4 年度周波数ひっ迫対策技術試験事務「オープンな規格を用いたマルチベンダー基地局の相互運用性向上のための技術的検討」等

(注 2) O-RAN ALLIANCE: 5G を始めとする次世代のオープンで高度な無線アクセスネットワークの構築を目的に設立され、現在、世界の通信事業者 32 社*とメーカー等の合計 297 社*が参加して、無線アクセスネットワークのオープン化、仮想化、インテリジェント化のために相互接続可能なインターフェースの国際的な標準仕様を定めるなどの活動を展開しています。*O-RAN ALLIANCE ウェブサイトより (2024 年 1 月 10 日時点)

(注 3) O-RAN E2E Badge 認証: OTIC が行う認証のひとつです。O-RAN 仕様に基づいて、5G 基地局装置 (RU、DU 及び CU) の組合せがエンドツーエンドの機能及びセキュリティの最低要件を満たしていることを証明します。

(注 4) 一般社団法人 YRP 研究開発推進協会調べ (2024 年 1 月 10 日時点)

本報道資料の配布先：総務省記者クラブ、テレコム記者会、横須賀市政記者クラブ

■ 本発表に関するお問合せ ■

Japan OTIC 代表会員 一般社団法人 YRP 研究開発推進協会 担当：鳥越、大矢、山口
TEL：046-839-0222